

第三者評価結果

A-1 保育内容

| | | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A-1-(1) 保育課程の編成 | | |
| 【A1】 | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>全体的な計画には、園の保育理念、保育方針・保育目標を明示し地域性を考慮して作成しています。園長、主任が作成した計画を基に、職員が前年度の取り組みについて評価、振り返りを行い、子どもの年齢等により発達状態等も違うため、園長、主任、職員が参画して意見を出し合い作成しています。</p> <p>地域の待期児童緩和の為、平成30年度に定員の変更を行っています。全体的な計画は、年度末に評価・見直しを行い次年度の計画に反映させています。</p> | | |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | | |
| 【A2】 | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>環境整備は、保健衛生マニュアルに基づき行われています。室内は加湿付き空気清浄機を設置し常に温・湿度管理、明るさ、換気等に配慮し、子どもたちが心地よく安全に過ごせるように整えています。</p> <p>清掃はチェック表を作成し調乳室、沐浴設備、温水シャワー、トイレ等の衛生管理に注意し常に清潔を維持しています。室内はロッカーや本箱などの配置を工夫し年齢に合わせて、玩具や遊びを選べるようにしています。乳児室は床にクッション材を使用しています。</p> <p>広い廊下の一部に図書室を設置し、「小人の森」と名付け多くの本を揃えています。特殊な構造で2階への階段を登ると、小さなソファが置いてあり、子どもたちが中に入って遊んだり、本を読んだり、一人になりたい時は静かに過ごす事が出来ます。</p> | | |
| 【A3】 | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>職員は子どもの発達状況や家庭状況を把握し、個人差を理解し子どもの状況に応じた対応に努めています。送迎時に保護者との連絡を緊密に行い、子どもの様子や状態を把握し、子どもの気持ちを受け止め、情緒の安定を図り安心して過ごせる環境を築いています。</p> <p>職員は子ども同士の関わりについて様子を見守り、必要に応じて声をかけたり、代弁するなど話しかけや言葉の遣い方に注意しています。穏やかで分かりやすい言葉で対応し、一人ひとりの発達に応じた取り組みをしています。</p> | | |
| 【A4】 | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>基本的な生活習慣は、子どもの発達・発育を考慮し保護者と連携して取り組んでいます。子どもに分るように持ち物に名前とマークや目印をつけ、片づける場所が分り「見える」ようにしています。</p> <p>年齢や子どもの状況に合わせてロッカーの整理、衣服の着脱、手洗い等初めは言葉で伝え、次は一緒に行い、子どもが自分から行動に移せるように工夫をし、自分でやろうとしている時は見守り、出来たときは一緒に喜び、もっとやりたいという意欲や達成感が味わえるように、本人のペースに合わせて行っています。</p> <p>4、5歳児は布団カバーの付け替えを自分たちで行い紐の結びが上手く出来ない子どもに年長児が優しく声掛けをする姿が見られました。</p> | | |

| | | |
|--|--|---|
| 【A5】 | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>保育室はクラスごとに、テーブルと椅子で幾つかのコーナーを作り、子どもたちは好きな場所や遊びを選び、年齢や発達に応じた遊具やおもちゃ、絵本などで遊んでいます。</p> <p>室内保育と戸外遊びを組み合わせた保育を実施し、子どもたちが自然と触れ合い興味や関心を持って遊べるよう工夫し、園庭遊びや、公園へ出かけたり、近くの老人施設を訪問したり多様な活動を通して豊かな体験を積めるように取り組んでいます。散歩や公園遊びで、地域の人との出会いや子どもたちとの交流もあり、地域や社会に関わる体験の場となっています。様々な表現活動が自由に体験できるようリミック活動などを増やしたいと検討しています。</p> | | |
| 【A6】 | A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>0歳児クラスは保護者と連携し、子どもの欲求を受け止め、スキンシップを図りながら子どもが安心して気持ちを表せるようにしています。連絡ノート等で、食事、睡眠等、一人ひとりの生活リズムに合わせた保育を実践し家庭と園の連続性を大切にしています。</p> <p>穏やかに静かな口調で語りかけをし愛着関係を育んでいます。室内の空間は子どもの成長に合わせて変更し、適切な援助により子どもたちが心地よく過ごせるようよう努めています。睡眠時は、市からの貸し出しでベビーセンスを全員使用しています。(SIDSチェック)</p> | | |
| 【A7】 | A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>職員は、子どもの健康状態や家庭の状況を把握し保護者と連携しながら、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重した保育をしています。子どもが安心して遊びを楽しめるように安全面に配慮し、異年齢の子どもとの関わりや行事、散歩等で職員以外の人とも関わる機会を大切に、具体的な声掛けをしています。</p> <p>子ども同志のトラブルでは、職員が中に入りお互いの話をよく聞いて解決を図りながら子どもの思いを受容し寄り添うよう努めています。家庭との連携を常に心がけ、保護者との会話を大切にしています。</p> | | |
| 【A8】 | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>3歳児クラスは、興味ある遊びを見出し活動が出来るように環境を整え、制作活動のクレヨンなど自分の物は自分で管理が出来、友達と協力して準備や片づけなど出来るように見守りながら支援しています。</p> <p>4歳児クラスは集団の中で自主性が発揮できるよう取り組み、友達と話合いながらやり遂げることや、お互いに違いがあることを理解し、取り組みを楽しみながら成長出来るようにしています。</p> <p>5歳児は生活力や生きる力を育て、困ったことや出来ないことは自分から訴え乗り越えようとする力を育てています。異年齢児との交流も関わりの中で集団活動を通し思いやりや、協力などの心が育まれるようにしています。</p> | | |

| | | |
|--|---|---|
| 【A9】 | A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>法人の理念にソーシャルインクルージョン(共生社会)を目指すことを掲げています。園内はバリアフリー構造で車椅子対応のトイレがあります。嘱託医の協力や専門家と連携し子どもの状況に合わせた保育が出来るように努めています。</p> <p>障害の特性に配慮した個別指導計画を作成し、保護者と連携して取り組んでいます。環境を整えて保護者が子どもたちと共に活動ができるように支援し、子どもたちは自然に受け入れができています。職員会議や日々のミーティングで職員は情報を共有しています。他クラスの保護者へ、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための説明の機会は設けておりません。</p> | | |
| 【A10】 | A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>長時間保育では、デイリープログラムに基づいて時間帯による異年齢保育を行い、子どもが穏やかにゆっくりと寛げるように環境に配慮しています。子どもの状況については職員間で口頭と文書で引継ぎを行い情報共有し、保護者に伝えています。</p> <p>指導計画に基づいた保育を行い、一定の時間になると、夕食に支障のない程度のおやつを提供し体調や活動内容に留意し必要に応じておやつの工夫や水分補給、遊びへの配慮をしています。子どもの甘えも受容し大切にしていますが、規模の関係ですべての子どもに家庭的な対応ができていく状況があります。</p> | | |
| 【A11】 | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>今年度の「全体的な計画」の中に、小学校との連携や就学に関する事項を明記しています。計画に基づき就学に向けた準備や説明の機会未だで、今後に予定しています。園長は、地域で年2回開催される「幼、保、小連携研修会」に出席し小学校との連携、就学を目指した保育について、情報交換しています。</p> <p>園長は、5歳児クラス担任や主任と意見交換し「保育所児童保育要録」を作成し、子どもが入学する小学校へ渡しています。卒園が近くなったら午睡をやめ小学入学に向けて期待と見通しが持てるように取り組む予定です。</p> | | |
| A-1-(3) 健康管理 | | |
| 【A12】 | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>健康管理マニュアル、年間保健計画を作成し、園児の健康管理体制ができています。入園時のアセスメントシートや面談による情報は、「児童表」に記録して管理し個人ごとの健康台帳を作成しています。家庭での様子や登園時の状況は、視診や保護者との会話、連絡帳などで確認し、職員間で情報共有しています。</p> <p>日頃から感染症に注意をし予防に努めています。園のしおりや懇談会で、保護者に対し乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしています。SIDSに関するチェックは0歳児は大和市より配布のベビーセンスを使用しています。</p> | | |
| 【A13】 | A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>園児の身体検査は、毎月1回実施、内科健診は0歳児クラスは毎月、1歳児以上クラスは年2回、歯科健診は全員年2回、尿検査は年1回実施し、健診結果を保護者へ伝えています。</p> <p>健診結果で気になることがある場合は、保護者に医師の診察を受けるよう勧めしています。「健康台帳」に内科健診・歯科健診等の結果を記録しています。健康診断等の結果は、保護者と共有し、必要に応じて、嘱託医やかかりつけ医と連携し、保育に反映しています。</p> <p>季節に合わせた健康管理や注意点を保護者にも連絡し、子ども達の健康管理に繋げています。子どもの健康状態については、嘱託医に適宜相談しています。</p> | | |

| | | |
|---|--|---|
| 【A14】 | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対し、マニュアルを整備し、保護者と連携を図って対応しています。保護者には入園時説明会で充分説明をし「生活管理指導票」「医師の意見書」「除去食申請書」を提出してもらい対応しています。</p> <p>アレルギー対応給食は、保護者、看護師、保育士、栄養士、調理員が連携して取り組み、配膳の確認は調理員と保育士の二重確認を行い、トレーの色を替えて提供しています。全職員が研修で対応方法を理解しています。</p> | | |
| A-1-(4) 食事 | | |
| 【A15】 | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>食育計画に基づいた活動を展開しています。子どもたちは野菜を育て収穫し、皮むきやヘタとり、クッキングなどの調理体験をしています。みんなと一緒に育てる喜びや楽しさを味わい、収穫した野菜を食べて食に関する関心を高めています。</p> <p>食の細かい子どもには無理強いせず一人ひとりの様子や体調を見て食事量を加減しています。3・4・5歳児はクッキングでお団子とトーストを作りに参加しました。</p> <p>地域の方の協力で人参や芋掘りに参加し季節の野菜を学んでいます。毎日給食サンプルを玄関に展示し保護者に分かるようにしています。</p> | | |
| 【A16】 | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>マニュアルに基づき、衛生管理が適切に行われています。調理員は、各クラスの喫食状況を見て回り子どもの声や残菜量を記録しています。栄養士、園長、主任、職員、看護師が参加して毎月給食会議を開催し、喫食状況などを考慮して、次回献立に反映しています。</p> <p>栄養士は、給食メニューに旬の素材を多く取り入れ、おやつは薄味や手り作りに拘り季節感を大切にしています。保護者は、給食の試食や、離乳食を食べる子どもの様子を見ることもできます。</p> | | |

A-2 子育て支援

| | | |
|---|---|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 | | |
| 【A17】 | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | b |
| <p><コメント></p> <p>2歳児クラスまでの子どもには、複写式の連絡帳でその日の子どもの様子を保護者に伝えています。幼児クラスは、連絡ボードに記してクラスの様子を伝えています。クラス懇談会、個人面談や保育参観、祖父母参観を開催して、保護者に保育の意図や内容について理解を得る工夫をしています。</p> <p>登降園時に保護者とのコミュニケーションを取るよう心がけていますが、保護者との対話が十分取れるまでに至っていません。</p> | | |

| | | |
|--|--|---|
| A-2-(2) 保護者等の支援 | | |
| 【A18】 | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | b |
| <コメント> 園長・職員は、保護者との会話や行動に関心を持ち、日々の声かけや挨拶、個人面談や保育参観を開催して、保護者と信頼関係が築けるようにしています。保育体制などについて説明が欲しいなどの声もあります。 保護者からの相談を受けた場合は園長・主任に報告し、クラス担任が解決できない時は、主任・園長が加わって対応していますが、記録が不十分です。特に発達の変化が著しい0歳児クラスや入学を控えた5歳児クラスは、保護者との情報共有の重要性に配慮が期待されます。 | | |
| 【A19】 | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | b |
| <コメント> 県央福祉会職員倫理行動マニュアル(保育所版)と西鶴間保育園運営規程で、職員の虐待禁止及び児童虐待防止法遵守を明確に示しています。視診、着替え、表情や態度などを観察して、子ども達への虐待の兆候を見逃さないようにしています。 虐待の兆候を発見した場合、職員は園長・主任に報告・相談して、関係機関に連絡する体制があります。虐待防止、権利擁護等を学ぶ機会を設け、マニュアルを整備していますが、研修参加や職員への周知徹底が不十分で今後に期待されます。 | | |

A-3 保育の質の向上

| | | |
|--|---|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価) | | |
| 【A20】 | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a |
| <コメント> 職員は、週案、月案、年間指導計画の各期末にクラス担任間で話し合って自己評価を行い、園長・主任の確認・評価結果を次期の計画に反映しています。 職員は、年度始めの園長との個人面談で、年間目標、研修計画などを決め、目標に向かって自己研鑽し、中間面談と期末面談で、保育実践の振り返りを行い、保育能力の向上に努めています。園長は、職員の人事考課制度に基づき人事評価を行い、職員の能力向上の方向性を指導しています。 | | |